

に規定された普通学校)に準じる法的地位をはじめ、包括的教育権をたたかい取ることは、民族教育事業全般を拡大、強化、発展させるにおいて実際上かなめであり、焦眉の問題であることは、誰もが認め、また要求している。

われわれは、主観的にその要求が熟し顕在化している今日、この運動を、一大大衆闘争として繰り広げる必要があると考え、その実現を要請する。

今日、同胞社会をとりまく情勢は実際に複雑であり、弾圧と経済難の中で危機感と不安は決して去らずにいる。しかし、われわれの信念と希望は決して死ぬことなく、在日同胞社会の発展と祖国統一のために寄与しようとする主体的力量も、彼らの勇気も生きている。

三千五百名を超える同胞が参加し十三億円という金を集め、新校舎を堂々と建てたことは、その証拠だ。

△民族教育フォーラムに参加したわが学父母、商工人たちは、われわれを育ててくれた一世、二世たちの意志、民族教育のためにすべてを捧げて活動した数

多くの先生たちの意志を継いで、今後も組織の指導の下に教育働き手たちと心を合わせ、金のある人は金で、知識のある人は知識で、力のある人は力で、民族教育の花園を引き続き咲かせていくであろうし、同胞社会を発展させていくであろう。

最後に、総聯中央では私たちが提起するこの要請への検討事業を、一つの部署ではなく、総聯中央常任委員会的に広く、深く検討し、至急、対策を立ててくださいよう要望する。



組織の指導の下に教育働き手たちと心を合わせ、金のある人は金で、知識のある人は知識で、力のある人は力で、民族教育の花園を引き続き咲かせていくであろうし、同胞社会を発展させていくであろう。

計報

脇田 憲一様

本誌執筆陣のおひとりである脇田憲一さんが十一月一日逝去されました。享年七十五歳。脇田さんは本誌4号(2009年12月10日)に「朝鮮戦争に『参戦』した日本共産党――日本共産党史のリセット」を執筆くださったのをはじめ、「光射せ!」出版記念の集会にもご参加ください、心臓手術後の大変な時期にもかかわらず、「きょうは気分がよいか」と二次会にもご参加くださいました。その一週間後の計報です。あまりの突然に声もありません。謹んでご冥福をお祈りいたしますとともに夫人光子様に心からのお悔やみを申し上げます。(萩原遼)

(経歴)一九三五年愛媛県生まれ、西支部主催の「光射せ!」出版記念の集会にもご参加ください、心臓手術後の大変な時期にもかかわらず、「きょうは気分がよいか」と二次会にもご参加くださいました。その一週間後の計報です。あまりの突然に声もありません。謹んでご冥福をお祈りいたしますとともに夫人光子様に心からのお悔やみを申し上げます。(萩原遼)

保釦後、高校中退して日本共産党に入党、翌年一九五三年九月、和歌山水害救援隊より「山村工作隊」「独立遊撃隊」に入隊。奈良県奥吉野地方の山村工作、大阪府下の基地工作に従事する。

一九五五年七月、日本共産党「六全協」で軍事組織解散、党専徒を解任。

一九五六年四月から鉄鋼・金属の職場に入り、労働組合運動に専念する。

著書に「朝鮮戦争と吹田・枚方事件」など。

日本国民の税金を何故注ぎ込むのか

—朝鮮学校の教育内容—

山田 喜弘

わからない。本当に教科書の内容は変わつたのだろうか。

実際に『現代朝鮮歴史 高級1・2・3(日本語訳)』(星への歩み出版発行)に目を通してみるとやはり特異な内容であることがわかる。

この教科書には日本の教科書と同じようにふんだんに写真が紹介されているのだが次のようないい写真が繰り返し載っているのはやはり世界の教科書のなかでも異様なことだと思われる。

以下、写真の説明文を紹介したい。

ウリハツキヨ(私たちの学校)
『ウリハツキヨ 民族のともしび』村口敏也著(新風社出版)という朝鮮学校を好意的にとり上げている本から引用する。

「一〇〇三年度、朝鮮学校の教科書の内容が大幅に改訂された。それまでは故金日成主席を「偉大なる指導者」と崇め、その生い立ちや活躍ぶりを紹介することに相当なページを割いていた。『金日成物語』のような英雄伝が、民族教育の根幹を成していった。朝鮮戦争直後の復興期に在日に送られた多額の教育資金が今日の

この本の著者は、朝鮮語がわからなければ密着取材しても授業の内容等は

この本の著者は、朝鮮語がわからなければ密着取材しても授業の内容等は

「朝鮮人民革命軍の隊員のなかにいらつしやる、敬愛する金日成主席様」(高級1・10頁)

「平壌市歓迎群衆大会で演説なさっている敬愛する金日成主席様(一九四五・一〇・一四)」(同・13頁)

「北朝鮮臨時委員会事務所にい

らつしやる敬愛する金日成主席様」

(同・16頁)

「普通江改修工事で、最初のスコッ
プをいれておられる敬愛する金日成

主席様（一九四六・五・二二）」(同・
22頁)

「尊敬する金正淑お母様」(同・23
頁)

「農民たちといっしょに田植えを
なさつておられる敬愛する金日成主席
様」(同・27頁)

「朝鮮人民軍の閱兵式で演説な
さつておられる敬愛する金日成主席様
（一九四八・二・二二）」(同・28頁)

「南北朝鮮政党・社会団体代表者連
席会議において報告される敬愛する
金日成主席様（一九四八・四・二二）」
(同・45頁)

「朝鮮民主主義人民共和国 朝鮮最
高人民会議第一回会議で政綱を発表
なされる敬愛する金日成主席様（一
九四八・九・一〇）」(同・53頁)

「前朝鮮人民に放送演説をおこな
われる敬愛する金日成主席様（一九

五〇・六・二五）」(同・80頁)

「抗道陣地掘設作業現場を現地指

導される金日成主席」(同・91頁)

「大同郡元華里の農民たちと談話
される敬愛する金日成主席」(同・96
頁)

「尊敬する金正淑お母様」(同・23
頁)

「祖国解放戦争の勝利を慶祝する
平壌市群衆大会で演説される敬愛す
る金日成主席（一九五三・七・二・八）」
(同・112頁)

以上、「現代朝鮮歴史高級1」から引
用してきたが「同2」「同3」も同様に
金日成、金正日の写真と説明文（そこ
だけ敬語が使われている）が載せられ
ている。

本文の内容も日本の歴史認識とまつ
たく異なる。

たとえば「大韓航空機爆発事件」に
ついては次のように一つの小見出しを
設けて説明している。

「南北旅客機失踪事件」

「一九八七年十一月二十八日イラ
クのバグダッドを出発しソウルに向
かつた南朝鮮旅客機が、タイーミヤ
ンマー国境付近上空で失踪した事件。
南朝鮮当局はこの事件を「北朝鮮工
作員金賢姫」が引き起こしたとでつ
ちあげ、大々的な「反共和国」騒動
をくり広げ、その女を第一三代「大
統領選挙」の前日に南朝鮮に移送す
ることによって盧泰愚「当選」に有利な環境を整えた」。(高級3・34頁)

まず日本の認識と大きく異なるのは
この事件を「爆破」ではなく「失踪」
事件としている点である。

また最近、来日した「北朝鮮工作員
金賢姫」が引き起こした事件を「でつ
ち上げ」だと主張している。

このような内容の記述は日本として
とうてい受け入れることができない。

逆にいえば日本の学習指導要領に準
じた教育を行うのであれば朝鮮学校な
ど設立する必要はないのである。経済
的負担も軽い日本の学校へ通えば良い
のである。

具体的に言うと朝鮮学校で教える
「国歌」は北朝鮮の「国歌」であつて日
本の「君が代」ではない。「君が代」で
あつてはならないと考える教職員や父
兄によつて運営されているとも言える
と思う。

また日本の学習指導要領に従つてい
ては金日成、金正日を崇拜する教育な
ど行えない「大韓航空機爆破事件」を

「南朝鮮当局」による「でつち上げ」と
思ふ。

ミサイル発射

また朝鮮高校の教科書では北朝鮮の
ミサイル発射について次のように記し
ている。

「一九九八年九月、共和国の人工地
球衛星発射を契機にして日本当局と
右翼勢力・言論出版機関などの騒ぎ
は極端な段階にいたつた。

日本政府は国会で、共和国に対する
制裁措置を加えることについての
問題を決定し、言論出版機関は人工
衛星発射をミサイル発射だと言いな
がら毎日のように「北朝鮮脅威」論
を大々的に宣伝した」。(同・120頁)

これも「ミサイル」を「人工衛星」
だと言ひ張る北朝鮮の勝手な言い分で
とうてい受け入れられない。

拉致問題

述である。朝鮮高校の教科書には次の
ように記している。

「二〇〇一年九月、朝日平壌宣言發
表以後、日本当局は「拉致問題」を
極大化し、反共和国・反総連・反朝
鮮人騒動を大々的にくり広げること
によつて、日本社会は極端な民族排
他主義的な雰囲気が作り出されて
いった」。(同・122頁)

金正日氏が「拉致問題」については
日本的小泉首相に謝罪した事実なども
もちろん載つてない。それどころかま
るで北朝鮮こそ被害者であると言わん
ばかりの記述である。

政治的・思想的に落められた?

先に紹介した『ウリハッキヨ 民族の
ともしび』という本では「朝鮮学校の

教科書の内容が大幅に改訂され（中略）
政治的、思想的な部分も薄められた。」
と紹介されている。が教科書の日本語

によって運営されているとも言える
と思う。

また日本の学習指導要領に従つてい
ては金日成、金正日を崇拜する教育な
ど行えない「大韓航空機爆破事件」を



特集1 朝鮮高校無償化問題 特ダネ 最新朝鮮総連裁判、いよいよ最高裁へ

— 1010 年 7 月 10 日 発売 領価 900 円 + 送料 100 円

TEL / FAX 072-990-2887
北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

教えることもできないし、北朝鮮が発射した「ミサイル」を「人工衛星」と教育することもできなくなるのである。このような教育が日本国内で行われていること自体、空恐ろしいことであるが少なくとも日本国民の税金を投するすることはできないと思う。

橋下大阪府知事は、金父子の肖像画の撤去を主張しているが、四国朝鮮初中級の肖像画撤去の模様を前掲『ウリハツキヨ』から最後に紹介したい。

「チマ・チヨゴリ姿の女性の先生が肖像画に一礼し、教団の机に上がった。教室は水を打つたような静けさ。みんな息をのんで見つめている。(中略) 何もしない壁を見上げる子供たちに、金校長はやさしく語りかける。『肖像画がなくなつても、お二人は私たちの心のなかります…』(中略)

ふと、職員室の壁を見上げると、そこにはまだ肖像画があった。
『教室のは必ずおろすよう通達がき

節の会場で朴大統領を狙撃し、弾は大統領夫人に当たり死亡させた事件である。しかし、当時の日本政府はなんの手も打たなかつた。

そして、その結果と言つても良いと思つたのが昭和五十五年の六月、大阪のJR鶴橋駅前の中華料理店「宝海樓」のコックとして働いていた原敷晃さんが辛光洙らによって北朝鮮に拉致された。

私は大阪に住んでいるのでよくわかるのだが、「文世光事件」にさいしてピストルを奪われた「高津署」から原敷

教えることもできないし、北朝鮮が発射した「ミサイル」を「人工衛星」と教育することもできなくなるのである。このような教育が日本国内で行われていること自体、空恐ろしいことであるが少なくとも日本国民の税金を投するることはできないと思う。

橋下大阪府知事は、金父子の肖像画の撤去を主張しているが、四国朝鮮初中級の肖像画撤去の模様を前掲『ウリハツキヨ』から最後に紹介したい。

「チマ・チヨゴリ姿の女性の先生が肖像画に一礼し、教団の机に上がった。教室は水を打つたような静けさ。みんな息をのんで見つめている。(中略) 何もしない壁を見上げる子供たちに、金校長はやさしく語りかける。『肖像画がなくなつても、お二人は私たちの心のなかります…』(中略)

ふと、職員室の壁を見上げると、そこにはまだ肖像画があった。
『教室のは必ずおろすよう通達がき

ましだが、職員室や校長室のは各学校の判断に任せることとなるので…』私は思わず意地悪な質問をした。

『じゃあ学校によつては、職員室からも撤去したところがあるんですね?』金校長は打ち消すように、即座に答えた。

『いや、それはないと思います』

ちなみに「通達」というのは「金正日総書記の了承のもと」朝鮮学校の運営母体、朝鮮総連によって為されたようだ。これが朝鮮高校の実態なのである。

次に日本政府がこれまで北朝鮮および朝鮮総連の犯罪に対してもどのように対応してきたかを見ていいたい。その事は今度の朝鮮学校の問題と直接不可分の関係にあると思うからである。

『やばいぞ日本』産経新聞「やばいぞ日本」取材班著(産経新聞社)によると北朝鮮の工作員として複数の日本人

晁さんが勤めていた「宝海樓」までは「千日前通り」という道路を東へ一直線で電車の駅で言えば二駅程度の距離である。「高津署」と「宝海樓」の中間地點ぐらに辛光洙が協力者と密談していた「U.S.」という喫茶店も上町筋沿いにかつてあつた(今はもうこの喫茶店はなくなっているが…)

朝鮮による国家犯罪に対する日本が自ら手を貸すことになると思う。何故なら北朝鮮と朝鮮総連および、朝鮮学校は一体不可分の関係にあるからである。日本政府は、これまで北朝鮮および朝鮮総連に対して厳しい対応をしてこなかった結果、いかに禍根を残したか、について今こそ深く学ぶべきである。

平成二〇一〇年十月八日 記

私は、朝鮮学校に対して日本国民の税金を注込むことは「文世光事件」や「拉致」「大韓航空機爆破事件」等の北

(※ もとの原稿は歴史的かなづかいで書かれていますが、現代かなづかいに改めました。編集部)

拉致事件を首謀した容疑で国際手配されている辛光洙を日本は取り押さえれるチャンスがあった。

昭和六十年夏、辛をスパイ容疑で逮捕した韓国側が日本側による辛の取り調べを認めると打診してきたのだ。

警察庁の捜査員約十人がソウルに飛び、辛を直接取り調べた。

韓国側は段ボールいっぱいの調査資料を提供した。

ところが警察と検察が協議した結果、書を見送った。検察側が韓国側の調書については「証拠価値は低い」「この調査にはなじまない」と主張したからだと言う。逮捕状が出なければ、身柄の引き渡し要求はできない。警察庁幹部は首をうなだれるしかなかつた。

一九七四年の文世光事件でも日本政府は無策であった。

在日韓国人文世光が在日朝鮮総連生野支部政治部長の金浩龍の指導で、ソウルでおこなわれた八月十五日の光復